

2022年4月

JETRO

ルイジアナ州  
ビジネスの魅力ガイド

*State of Louisiana*

Bourbon St, New Orleans, Louisiana

音楽があふれるバーボンストリート、ルイジアナ州ニューオーリンズ

# 目次

## Table of Contents

はじめに	3
全米ランキング	4
基本情報	5
経済	
概況	7
主要産業	9
企業	14
投資インセンティブ	15
高等教育／特許	16
スタートアップ	18
ライフスタイル	19

### 【免責事項】

当レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ヒューストン事務所が米国調査会社Washington CORE, L.L.C.の協力を得て制作しました。原則2021年3月時点で入手した情報に基づきますが、一部統計等2021年末までに判明した情報を加えています。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、当レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

# はじめに

## Preface

### ルイジアナ州への投資の魅力

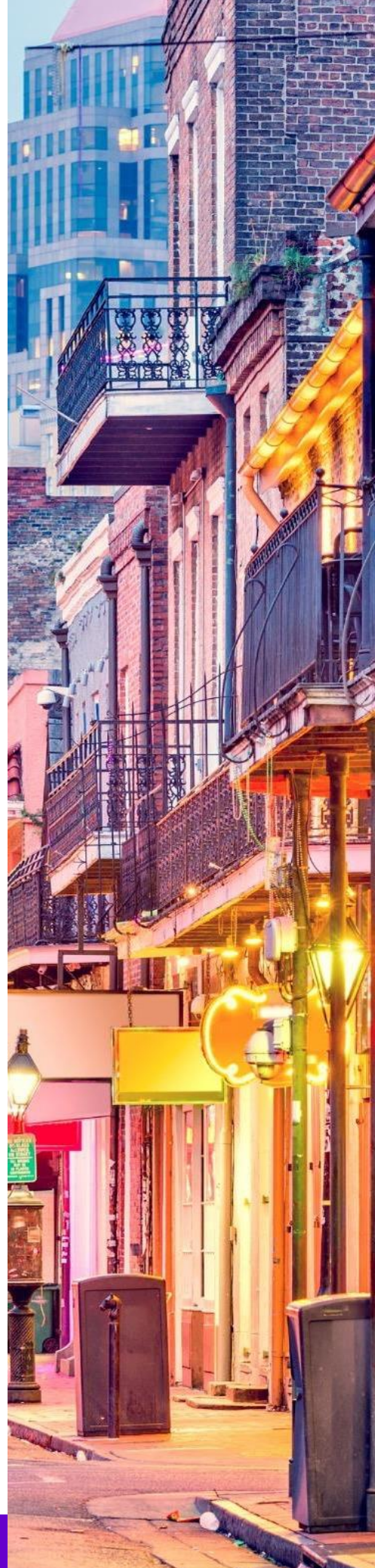
ルイジアナ州は、州南部のメキシコ湾や陸地にエネルギー資源が豊富にあり、原油生産量と埋蔵量で長年に亘り全米トップ10入りしている。ヘインズビル・シェールガス田（Haynesville Shale）をはじめ天然ガスの生産量が多く、2014年から2019年の天然ガス消費量ではテキサス州、カリフォルニア州に次いで全米3位である。

州内のインフラをみると、天然ガスパイプラインに加えて、ルイ・アームストロング・ニューオーリンズ国際空港（Louis Armstrong New Orleans International Airport）をはじめとする空港、鉄道輸送や港湾インフラ網が整備されている。州都バトンルージュ（Baton Rouge）とニューオーリンズ（New Orleans）の間にある南ルイジアナ港（Port of South Louisiana）は、米国最大規模の港の一つとして全米および同州の貿易を推進している。サイト・セレクション誌（Site Selection）が2018年に発表した世界インフラ投資指標「グローバル・グラウンドワーク・インデックス（Global Groundwork Index）」で、同州は全米でテキサス州に次ぐ2位に選ばれた。

また、ルイジアナ州は、税金や生活コストが割安で、教育レベルや生活の質の高さなど投資にとり好条件が揃っていて、企業向け立地選定を専門とするエリア・デベロップメント誌（Area Development）のマガジンの2019年「ビジネスに最も適した州ランキング（Top States for Doing Business）」で8位にランクインしている。重要産業である石油化学分野では大型投資プロジェクトが多数進行中である。

ルイジアナ州は、ケイジャン（Cajun）と呼ばれるフランス系移民の影響により、米国の中でも独特の文化を持つ。また、ジャズの発祥地としても有名であり、ディキシランドジャズ、ブルース、カントリー、ロックといった大衆音楽ジャンルの発信地でもある。

毎年春にニューオーリンズで開催されるニューオーリンズ・マルディグラ（New Orleans Mardi Gras）はブラジルのリオデジャネイロのカーニバルと並ぶ世界最大規模の祭典。またバーが多く立ち並ぶバーボン・ストリート（Bourbon Street）ではジャズなどの音楽を楽しむなど、米国内有数の観光地として毎年多くの旅行客を迎えている。



# 全米ランキング

*Top Rankings in the United States*

ルイジアナ州は、以下のような経済・社会指標ランキングで全米上位につけている。

## 1位

2019年 全米労働訓練プログラム 10年連続  
(2019年7月Business Facilities)

## 2位

2019年 世界インフラ投資指標ランキング 2年連続  
(2019年10月Site Selection)

## 2位

2019年 南部州経済開発ランキング  
(2019年7月Southern Business & Development)

## 8位

2019年 全米ビジネスに最も適した州  
(2019年第3四半期Area Development)

# シルバーショベルアワード

経済開発・投資ランキング (2018年6月Area Development)



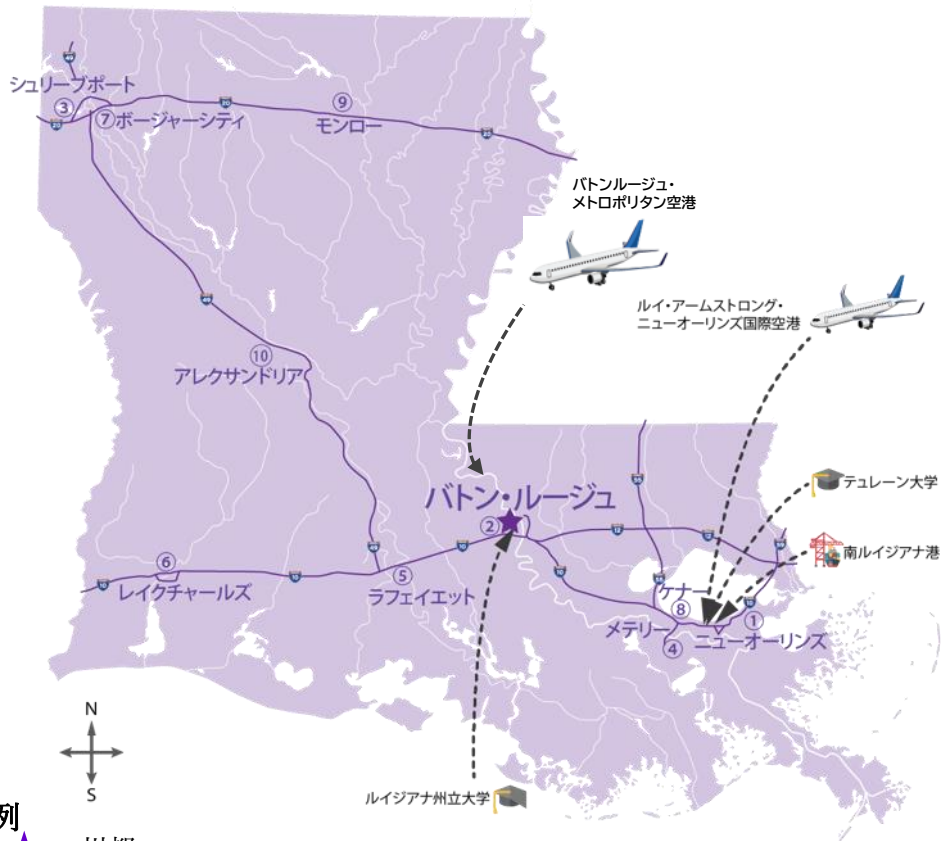
# 基本情報

## Basic Information





米国南部に位置するルイジアナ州は、州南部がメキシコ湾に面し、州の西側にはテキサス州、東側はミシシッピ川を挟んでミシシッピ州があり、州の北側にはアーカンソー州がある。



### ルイジアナ州の主要都市と主な空港・港



#### 凡例

-  州都
-  州内で旅客利用者数の多い空港
-  州内で取扱量の大きい港湾
-  U.S.News & World Report2021年 - 大学ランキングでルイジアナ州の上位大学
- ①～⑩ ルイジアナ州人口ランキング上位10都市（米国国勢調査局：2019年）



ニューオーリンズの観光馬車



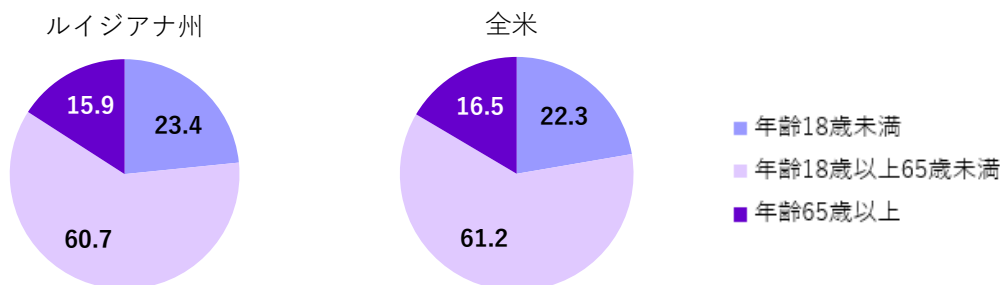
ニューオーリンズの市街地

## ルイジアナ州人口（単位：人）

人口*	ルイジアナ州	米国全体
2010年	4,533,487	308,758,105
2019年	4,648,794	328,239,523
人口増減率（%）	2.5	6.3

\*米国勢調査局 2010年4月1日時点、2019年7月1日時点の推計。以下データは特記無い限り同局

## ルイジアナ州と全米の人口に占める年齢別内訳（2019年、単位：%）



## ルイジアナ州と全米の人種構成（単位：%、2019年）

人種	ルイジアナ州	米国全体
白人	62.8	76.3
黒人（アフリカ系アメリカ人）	32.8	13.4
アメリカ先住民とアラスカ先住民	0.8	1.3
アジア人	1.8	5.9
ハワイ先住民とその他太平洋諸島の住民	0.1	0.2
2種類以上の人種	1.8	2.8
ヒスパニック（ラテンアメリカ人）	5.3	18.5
白人（ヒスパニック〔ラテンアメリカ人〕以外）	58.4	60.1

## ルイジアナ州と全米の25歳以上に占める高卒・大卒率（調査期間：2015～19年）

	ルイジアナ州	米国
25歳以上の高卒率	85.2%	88.0%
25歳以上の大卒率	24.1%	32.1%

## ルイジアナ州 知事、連邦議員

州知事：ジョン・ベル・エドワーズ（John Bel Edwards 民主党）。現在2期目、任期は2024年1月8日迄

連邦上院議員：ビル・キャッシュディ（Bill Cassidy 共和党）、ジョン・ケネディ（John Kennedy 共和党）

連邦下院議員：定数6。共和党5議席、民主党1議席

## 日本ールイジアナ州関係

- ・在ナッシュビル日本国総領事館管轄 在ニューオーリンズ名誉領事 Hon. Donna D. Fraiche
- ・在留邦人数 1,068人（2019年10月現在 総領事館資料）
- ・姉妹都市：島根県松江市-ニューオーリンズ市

# 経済一概況

## Economy



### ルイジアナ州の経済規模（2019年）

GDP	ルイジアナ州	米国全体
名目GDP（百万ドル）	254,562	21,372,582

《参考》フィンランドの名目GDP（2019年）268,812百万ドル

データ：米国経済分析局、IMF

### ルイジアナ州の輸出入額（2019年）

輸出入額	ルイジアナ州 （百万ドル）	米国全体 （百万ドル）
輸出額	63,876	1,642,820
輸入額	29,380	2,493,737

データ：米国国勢調査局

### ルイジアナ州の世帯数と所得（調査期間：2015～19年）

世帯・所得データ	ルイジアナ州	米国全体
世帯数	1,739,497	120,756,048
平均世帯人数	2.61	2.62
世帯所得（中央値、ドル）	49,469	62,843
貧困率（%）	19.0	10.5

データ：米国国勢調査局



### ルイジアナ州の労働人口・失業者数

労働データ	2019年10月		2020年10月	
	ルイジアナ州	米国全体	ルイジアナ州	米国全体
労働人口（人）	2,102,225	164,965,729	2,113,377	161,890,197
失業者数（人）	108,903	5,947,932	198,710	11,195,747
失業率（%）	5.2	3.6	9.4	6.9

データ：米国労働統計局

ニューオリンズ、  
フレンチクォーターの  
歴史を感じるバルコニー



# 経済一概況

## Economy

### ルイジアナ州の職業別雇用数・平均賃金（2019年5月）

職業	雇用者数（人）		平均年間賃金（ドル）	
	ルイジアナ州	米国全体	ルイジアナ州	米国全体
全体	1,921,950	146,875,480	44,170	53,490
マネジメント	90,880	8,054,120	100,920	122,480
ビジネス・財務	73,590	8,183,750	63,180	78,130
コンピュータ・数理	20,230	4,552,880	68,690	93,760
建築・エンジニアリング	31,220	2,592,680	84,000	88,800
自然科学、社会科学	14,380	1,288,920	67,530	77,540
コミュニティ/社会サービス	27,220	2,244,310	45,580	50,480
法務	15,000	1,150,780	81,350	109,630
教育、訓練、司書	129,790	8,886,600	44,010	57,710
アート、デザイン、エンター テイメント、スポーツ、メ ディア	18,630	2,017,810	48,380	61,960
医療・看護・技師	129,270	8,673,140	67,780	83,640
医療補助	89,940	6,521,790	24,590	31,010
保安警備	58,160	3,498,800	37,960	49,880
飲食業	187,820	13,494,590	21,620	26,670
土地建物清掃メンテ	53,610	4,429,100	24,550	31,250
パーソナルケアとサービス	40,980	3,303,200	25,880	31,260
販売・営業	198,770	14,371,410	33,720	43,060
事務/管理補助	245,350	19,528,250	35,180	41,040
農業、漁業、林業	4,820	484,750	37,150	31,340
建設・採掘	125,700	6,194,140	46,870	52,580
設置、保守、修理	91,990	5,713,450	47,400	50,130
生産	105,470	9,158,980	47,570	40,140
運輸・運搬	169,140	12,532,030	39,210	37,920

データ：米国労働統計局



# 経済－主要産業

Major Industries

ルイジアナ州には、6本の高速道路や6本の一級鉄道、6カ所の深海港、7か所の主要空港が整い、物流面で競争力を有する。メキシコ湾の深海油田に加え、州南部と北西部には、石油ガス田が広がる。特に北西部はシュリーブポート（Shreveport）からモンロー（Monroe）の一带にガス田が集中。州生産量は天然ガスで全米3位、原油で10位（EIA。オフショアの連邦鉱区生産分を除く）。

同州は塩の生産量でも全米1位であり、硫黄、砂、砂利、粘土の主要生産地でもある。また、同州東部を流れるミシシッピ川沿いの農業地帯では、綿花、砂糖キビ、米、大豆、トウモロコシ、家畜用穀物などの生産や、畜産業や林業も盛んであり、林業の生産量は全米上位を占める。

同州の主要製造業は化学・石油・石炭製品で、化学産業は州都バトンルージュとニューオーリンズ間のミシシッピ川沿いに集中している。また、林業および木製品、輸送機器、金属製品、食品加工なども盛んである。

同州は映画、テレビ、音楽などエンターテインメント産業向け税額控除を用意し関連産業の進出を促している。ニューオーリンズやバトンルージュ、シュリーブポートには映像プロダクションスタジオが集まっている。



ミシシッピ川に面したニューオーリンズのビル街



ニューオーリンズのクレセントシティコネクション橋



# 経済－主要産業

## Major Industries



ルイジアナ州の旗



エネルギー



アグリビジネス



エンターテインメント



先進製造業



航空宇宙



石油化学プロセス



ソフトウェア



水資源管理

ルイジアナ州の主要産業セクターには、①エネルギー、②アグリビジネス、③エンターテインメント、④先進製造業、⑤航空宇宙、⑥石油化学/プロセス、⑦ソフトウェア開発、⑧水資源管理などが挙げられる。

なお、主要産業の記載に当たっては、ルイジアナ州経済開発局（Louisiana Economic Development：LED）ウェブサイト及び資料を参考に作成した。既に高い競争力を有する産業の他、今後の成長を見込む産業も含まれている。

# 経済－主要産業

## Major Industries



### エネルギー Energy

ルイジアナ州南部沿岸の先に広がるメキシコ湾には、全米の海洋油田の9割以上が集中している。オフショア連邦鉱区を含む州生産量は原油が全米2位（オフショア除くと10位）、天然ガスが3位である。クリーンエネルギー関連企業と農業セクターとの連携も盛ん。ルイジアナ州立大学（LSU）やルイジアナ大学ラファイエット校（University of Louisiana at Lafayette）では、化学工学やエネルギー研究に注力している。ハリバートン（Halliburton）やニューパーク・リソース（Newpark Resources）などエネルギー生産に不可欠なサービスや製造を担う大手企業も進出している。



メキシコ湾沖の石油プラットフォーム



### アグリビジネス Agribusiness



ルイジアナ州は、豊富な天然資源、充実した輸送インフラ、メキシコ湾に近接する地理的条件により、農業関連のイノベーション創出が盛ん。農業での付加価値の拡大や藻類エネルギーなど先進研究に力を入れている。また、コミュニティカレッジや専門学校を通じて、高度なアグリビジネス人材の育成に努めている。同州に拠点を関連企業には、食品加工のラム・ウェストン（Lamb Weston）、製紙・木材加工のジョージア・パシフィック（Georgia-Pacific）木材加工のRoy O. Martin Lumber Company、ロイ・O・マーティンなどがある。



### エンターテインメント Entertainment



ルイジアナ州は、2002年に導入された映画産業向けインセンティブ制度に基づき、映画、デジタルコンテンツ、関連ソフトウェア、音響録音、ライブパフォーマンスといったエンターテインメント関連事業に包括的な優遇制度を提供している。同州のエンターテインメント産業には、2万人超のテクノロジー系雇用を含む多くの労働者が携わっている。進出企業には、ゲーム映像制作会社のエレクトロニック・アーツ（Electronic Arts）やハイボルテージ・ソフトウェア（High Voltage Software）、インエグザイル・エンタテインメント（inXile Entertainment）や、劇団シルク・ドゥ・ソレイユ

（Cirque du Soleil：カナダ）などがある。また、「ジュラシックパーク（Jurassic Park）」や「ターミネーター（Terminator）」といった大ヒット映画のロケ地であり、ブロードウェイ・ミュージカルの巡回地としても著名である。世界的なカーニバルのマルディグラには毎年約140万人が参加し、地元経済の成長に大きく貢献している（2021年は新型コロナのため中止）。

# 経済－主要産業

## Major Industries



### 先進製造業 *Advanced Manufacturing*

ルイジアナ州には、優れた人材開発プログラムや進出企業に対する税控除などのインセンティブ、新規製造事業に対する低税率など、製造業者に有利なビジネス環境が整っている。同州における製造業関連雇用数は43万人超で、鉄鋼国内最大手のニューコア（Nucor）、熱間圧延シームレス鋼管製造大手ベントラー・スチール/チューブ（Benteler Steel/Tube、オーストリア）、コンプレッサーやポンプ等産業機械ガードナー・デンバー（Gardner Denver）など大手企業が進出。



### 航空宇宙 *Aerospace*

ルイジアナ州は、インフラや物流面での優位性を活かし、航空宇宙関連産業の誘致に力を入れている。進出企業はボーイング（Boeing）やロッキード・マーティン（Lockheed Martin）、ヘリコプター運行のメトロ・アビエーション（Metro Aviation）、貨物専用機運行のウェスタン・グローバル（Western Global）など。NASA、州政府、ルイジアナ州立大学、ニューオリンズ大学が参加する全米先端製造センター（The National Center For Advanced Manufacturing）で航空機製造に用いられる合成材料や金属材料の研究が進む。コミュニティカレッジなどでは、ヘリコプターや固定翼飛行機のパイロットの育成プログラムを提供している。



### 石油化学/プロセス *Process Industry*

ルイジアナ州は、優れた運輸インフラや、豊富な天然資源とコストの低い工業用原料など、石油化学プロセス関連事業にとり好条件が揃っているため、石油化学メーカー150社以上、製油所18社の拠点となっている。州政府は2012年、エネルギー・化学大手サソル（南ア）と提携を発表し、技術訓練センターの設立に2,000万ドルを投じるなど、長年に亘り人材開発に力を入れている。ダウ・ケミカル（Dow）、エクソンモービル（ExxonMobil）、ハニーウェル（Honeywell）、BASF（ドイツ）、信越化学工業（Shintech）といった石油化学分野の世界的な大手企業が同州に進出している。



ルイジアナ州の石油化学施設

# 経済－主要産業

## Major Industries

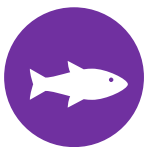


### ソフトウェア開発

Software Development

ルイジアナ州では、バトンルージュ、ニューオリンズ、シュリーブポート、ラファイエットといった都市部を中心に、ソフトウェアやデジタルメディアの産業クラスターが台頭している。また、州政府は、産業パートナーと連携して、地元大学のコンピュータ科学部や工学部に3,800万ドル以上を投じてIT人材を育成している。なかでも、IBMとの連携では、ルイジアナ州立大学（LSU）を中心に地元大学のコンピュータ科学プログラムに2013年から10年間で1,400万ドルを投じ、

卒業数の拡大を推進している。ソフトウェア関連事業で同州に進出している企業はIBMの他にも、DXCテクノロジー（DXC Technology）、CSRA、ルーメン・テクノロジーズ（Lumen Technologies：旧CenturyLink）などがある。



### 水資源管理

Water Resource Management

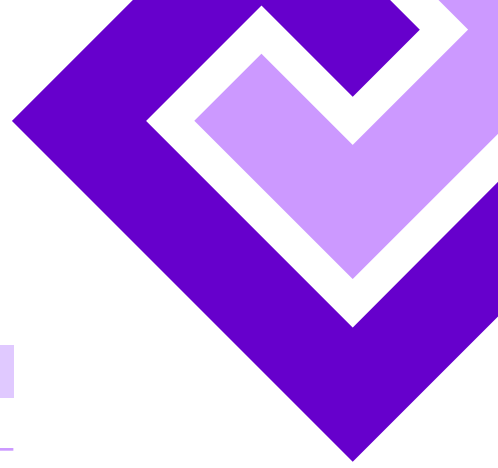
ミシシッピ川とメキシコ湾が近接するルイジアナ州には、災害からの復興や洪水管理に対して数十億ドルの公的資金が毎年投じられており、湾岸の環境保全や水資源管理を行う企業が多数、同州に進出している。また、ルイジアナ州沿岸保護・保全局（Coastal Protection and Restoration Authority）によると、同州は今後50年に亘り、湿地帯の創出及び保護、治水工事といった水資源関連研究プロジェクトに毎年10～20億ドルを投じる予定である。



堤防の上に設置されたサイクリングロード

# 経済－企業

## Major Companies



ルイジアナ州の事業所数、マイノリティ所有事業所数、  
退役軍人所有事業所数（2012年）

事業所の種類	総数
事業所	414,291
マイノリティ所有事業所	126,100（事業所数比30.4%）
退役軍人所有事業所	42,211（事業所数比10.1%）

データ：米国情勢調査局

### Fortune 500にランクインしたルイジアナ州に拠点を置く企業（2020年）

2020年フォーチュン500にランクインしたルイジアナ州に本社を置く企業は、ルーメン・テクノロジーズ（Lumen Technologies：143位、本社：モンロー（Monroe）、業種：通信事業、2019年度売上：224億ドル）と、エンタジー（Entergy：293位、本社：ニューオリンズ、業種：発電・小売事業、2019年度売上：108.7億ドル）である。



夕暮れ時のシュリーブポート

# 投資インセンティブ

## Investment Incentives

ルイジアナ州政府は、ルイジアナ州経済開発局（Louisiana Economic Development：LED）を通じて、以下のような投資インセンティブを提供している。

### ルイジアナ州政府の主な投資インセンティブ（2020年12月時点）

インセンティブ	概要
LEDファーストスタート（LED FastStart）	企業のニーズに応じて質の高い労働力を確保するための人材開発プログラム。採用から選抜、訓練までを製造業や企業本社、デジタルメディア、カスタマーサポート、研究開発など多様な部門の経験者がチームとなり無料で支援。支援対象は大企業から、主要ベンチャーキャピタルに出資を受けるハイテク企業まで多岐にわたる。
エンタープライズ・ゾーン（Enterprise Zone）	ルイジアナ州政府が指定する地域に企業が創出する新規雇用1人につき①3,500ドルまたは1,000ドルの税額控除、②資本費用に対する州の売上利用税の戻し入れか、設備投資額に対する1.5%の税額控除を提供する。
産業免税措置（Industrial Tax Exemption）	州内における雇用創出を約束した製造業者に対する税優遇措置で、ルイジアナ商工会議所および業界団体、地方自治体による承認に基づき、5年間の資産税を80%軽減する。特定の設備投資には更に5年間の本措置延長の可能性もある。
研究開発税額控除（Research and Development Tax Credit）	州内に業務施設を開設している企業を対象とする研究開発業務を促進するためのプログラム。州内で発生した経費のうち承認された部分に対する30%の税額控除が認められる。
中小企業能力開発プログラム（Small and Emerging Business Development Program：SEBD）	中小企業における経営管理や技術支援を目的とする制度で、起業、マーケティング、コンピュータ関連、会計、業務計画、および法制度に関する能力開発を支援する他、州組織が調達する一部の製品・サービスに対する入札において優先的に考慮される。

出典：ルイジアナ州経済開発局

### 経済開発組織・商工会議所

ルイジアナ州の主要な経済開発組織および商工会議所は以下のとおり。

地	経済開発組織	商工会議所
ルイジアナ州	ルイジアナ州経済開発局（Louisiana Economic Development：LED）	ルイジアナビジネス産業協会（Louisiana Association of Business and Industry：LABI） （ニューオーリンズ世界貿易センター（The World Trade Center of New Orleans）も国際貿易・投資関係では活発に活動）
バトンルージュ（Baton Rouge）	バトンルージュ市及びバトンルージュ地域商工会（Baton Rouge Area Chamber：BRAC）	バトンルージュ地域商工会（Baton Rouge Area Chamber：BRAC）
ニューオーリンズ（New Orleans）	ニューオーリンズ経済開発室（Office of Economic Development）	ニューオーリンズ商工会議所（New Orleans Chamber of Commerce）

出典：各組織のウェブサイト

# 高等教育／特許

Higher Education / Patent

## 主要大学

U.S.News & World Reportの2021年大学ランキングにおいてレイジアナ州で上位に入った大学は次のとおり。

大学	順位
テュレーン大学 (Tulane University, New Orleans)	41
レイジアナ州立大学バトンルージュ校 (Louisiana State University, Baton Rouge)	153
ロヨラ大学ニューオリンズ校 (Loyola University New Orleans, New Orleans)	196

出典：U.S.News & World Report 2021を基に作成

## テュレーン大学

1834年にニューオリンズで開設された私立総合大学であり、米国とカナダの研究大学が所属する米国大学協会 (Association of American Universities) 加盟校のなかで9番目に歴史が古い。なかでもロー・スクールは評価が高いほか、公共衛生・熱帯医学 (School of Public Health and Tropical Medicine) は同分野で全米でも唯一の専門プログラムとして知られている。その他、メディカルスクール、ビジネススクール、建築大学院、公共衛生大学院などがある。



テュレーン大学

## レイジアナ州立大学バトンルージュ校



1853年にバトンルージュで開設した州立大学で、レイジアナ州立大学機構 (Louisiana State University System) の旗艦校である。研究機関として定評があり、国立衛生研究所 (National Institute of Health : NIH) や米国国立科学財団 (National Science Foundation : NSF)、全米人文科学基金 (National Endowment for the Humanities : NEH)、米国航空宇宙局 (National Aeronautics and Space Administration : NASA) といった政府機関の研究プロジェクトに多数参加している。大学院プログラムには、経済学部、工学部、法学部などがある。



# 高等教育／特許

Higher Education / Patent

## コミュニティカレッジ

ルイジアナ州では、ルイジアナ・コミュニティ・テクニカルカレッジズ（Louisiana's Community and Technical Colleges : LCTCS）が、州内で12校のコミュニティカレッジ（コミュニティカレッジ9校、テクニカル・コミュニティカレッジ3校）のネットワークを展開している。

LCTCSでは、民間企業と提携して同州の人材育成を強化している。近年では、LCTCSは2019年5月、アマゾンのクラウド部門Amazon Web Service（AWS）と連携して、クラウドコンピューティング準学士号取得促進プログラム「AWS Educate」を開始した。同プログラムでは、高校と4年制大学との橋渡しをしながら、ゆくゆくは州全体にクラウドコンピューティング教育を展開すること目指している。



## 特許

ルイジアナ州の2019年における特許取得数は510件であった。同州では、ルイジアナ州立大学のLSU図書館が、米国特許商標庁の特許商標リソースセンター（Patent and Trademark Resource Centers : PTRC）に指定されており、特許取得に関する情報を提供する専門スタッフが配備されている。また、テュレーン大学ロー・スクールや、バトンルーージュにのサザン大学ローセンター（Southern University Law Center）も、特許・商標取得に関する助言を提供している。

### ルイジアナ州の米国特許取得件数 （2019年1月1日～12月31日）

地域	特許取得件数
ルイジアナ州	510
米国合計	186,118
海外からの取得	204,985

データ：米国特許商標庁

# スタートアップ

## Startups

ルイジアナ州のスタートアップ企業を支援する主な組織は以下のとおり。

組織（本社）	概要
● North Louisiana Investors （ラストン）	ルイジアナ工科大学（Louisiana Tech University）やラストン市政府（City of Ruston）などのコンソーシアムにより設立された。情報技術、先端材料、バイオサイエンス、電子通信、ソフトウェア、デジタルメディア、サイバーセキュリティ、バイオ医療、医療技術関連企業に対するアーリーステージ投資を行う。
● Louisiana Funds （バトンルージュ）	アーリーステージ投資の歴史が浅いルイジアナ州において体系的な資金提供を目指して設立された。州内の大学や企業で開発された技術を中心に、医薬品、情報技術、およびその他のハイテク関連企業に投資する。
● Nexus Louisiana Tech Park（バトンルージュ）	バトンルージュに拠点を置き、コワーキングスペースなどでテクノロジー系スタートアップが協働できるテック・パーク（Tech Park）を運営するインキュベーター。
●● BRF （シュリーブポート）	州北西部シュリーブポート地域の経済活性化を目的に、シュリーブポート商工会議所により1986年に設立された。2014年にアクセラレーションプログラム（EAP）、2015年と18年に600万ドルのエンゼルファンド（NLAF）を設置した。
● VC ● アクセラレーター ● インキュベーター	出典：各組織のウェブサイト

“

我々はルイジアナ州の中小企業の成功を支援するだけではない。

**中小企業の成功により、州内すべての企業が生産性を高めることができるようになる。**

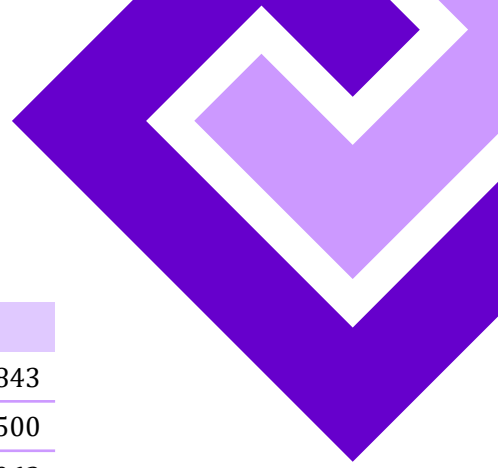
ルイジアナ州経済開発庁(LED)が州内中小企業のために尽力していること、そしてルイジアナ州は世界的にも優れた起業家精神を有すると表されていることを誇りに思う。

”

2019年10月  
ルイジアナ州 ジョン・ベル・エドワーズ知事  
国際中小企業アワード受賞発表のプレスリリースにて

# ライフスタイル

Life Style



## 生活基本データ（調査期間：2015～19年）

生活基本データ	ルイジアナ州	米国全体
世帯所得（中央値、ドル）	49,469	62,843
住宅価格（中央値、ドル）	163,100	217,500
家賃（中央値、ドル）	866	1,062
持ち家率（%）	65.6%	64.0%

データ：米国国勢調査局

## 人気居住エリア

ニューオーリンズ周辺では、トゥレーン大学のキャンパスもあるオーデュボン（Audubon）、閑静な住宅街や飲食店、雑貨店が並ぶアップタウン（Uptown）やガーデン地区（Garden District）などが人気。バトンルージュ周辺では、郊外の自然の豊富な新興住宅地で、治安や教育の評判が良いプレーリーヴィル（Prairieville）の人気の高い。



## 日本関係コミュニティ

1928年に設立されたJapan Society of New Orleansは文化交流プログラムや日本文化に関するインターネット放送「KEREW OF JAPAN」の配信、オンライン講演会、日本語勉強会など様々な活動を行っている。日本語補習校は、ニューオーリンズ、バトンルージュにある。

## 交通

米国国勢調査局によると、2015年から2019年におけるルイジアナ州の16歳以上の住民の通勤手段は車、トラック、バンを一人で運転が82.6%、車、トラック、バンの相乗りが9.1%、公共交通機関（タクシーを除く）が1.2%、徒歩が1.9%であった。また、同期間のルイジアナ州の通勤時間平均は25.7分で、全米平均の26.9分よりも短い。



# ライフスタイル

## Life Style



ルイジアナ州は、古くはフランスに系譜をたどるケイジャン文化や、カーニバルのマルディグラ、ニューオリンズ発祥のジャズ音楽で有名なバーボン・ストリートなど文化が多彩で、毎年多くの旅行客が訪れる。また、同州は、広大な湿地帯や野生動物保護区を有する自然に恵まれた地域でもある。



グランドアイランド州立公園

### 自然公園

約3,400年前に作られた先住民の土塁で世界遺産に指定されているポヴァティ・ポイント（Poverty Point）、綺麗なビーチがあるグランドアイランド州立公園（Grand Isle State Park）やラザフォードビーチ（Rutherford Beach）、カヤックやカヌーができるメキシコ湾沿いの湿地帯や沼地、ハイキングや野鳥観察で人気のマンダレイ国立野生生物保護区（Mandalay National Wildlife Refuge）など。

### 博物館／美術館

ニューオリンズには、マルディグラワールド（Mardi Gras World）やニューオリンズ美術館（New Orleans Museum of Art）などがある。バトンルージュには、州の歴史を学べる州議事堂公園美術館（Capitol Park Museum）や旧ルイジアナ州会議事堂（Old Louisiana State Capitol）、ルイジアナ州議事堂（Louisiana State Capitol）など。



ルイジアナ郷土料理。ザリガニ蒸しとシーフードガンボ

### スポーツチーム

ニューオリンズ・セインツ（New Orleans Saints：NFLアメリカンフットボール）、ニューオリンズ・ペリカンズ（New Orleans Pelicans：NBAバスケットボール）など。

### 住民気質

ルイジアナ州には、フランスやスペイン、アフリカなどからの混合移民の影響により、多様性に富んだ人々が集まっている。音楽や食事、賑やかな集まりなどを好まれ、おおらかで謙虚な気質の人が多くとされる。また、カーニバルのマルディグラに代表されるように、ルイジアナ州民の多くはその伝統に誇りを持っており、伝統的な祭典を祝うことを重要視している。



A large graphic element on the right side of the page. It consists of a thick purple horizontal bar that transitions into a diamond-shaped geometric pattern. The pattern is composed of several concentric, interlocking lines in shades of purple and white, creating a stylized, maze-like or labyrinthine design.

# JETRO

ジェトロ・ヒューストン事務所  
1221 McKinney Street, Suite 4141,  
Houston, Texas 77010, U.S.A.  
E-mail: [inqu-hou@jetro.go.jp](mailto:inqu-hou@jetro.go.jp)

写真：引用記載が無いものはShutterstockの素材を基に作成。Images used under license of Washington CORE with Shutterstock.com.

制作協力 Washington CORE, L.L.C